

1. 教育目標

本研究科では、病態解明に必要な消化器癌、消化管粘膜傷害、機能性消化管障害についてその本質を探究、究明することに重点を置き、独創的な臨床研究、基礎研究を行い、臨床応用可能な診断、治療技術の開発を目指している。高度な専門的知識を基に、指導力を発揮し得る医療者の育成を行い、学術研究を推進する研究者・教育者の育成を目指す。また総合的に幅広い知識を応用し、日々の医療の問題点を発展的に解決することが出来る人材を育成することを目的とする。

2. 到達目標

- (1) 機能性消化管障害の病態と治療に関する最新知見を習得する。
- (2) 消化器癌の診断と治療に関する技術と最新知見を習得する。
- (3) 消化器疾患の疫学的研究、臨床試験の手法を習得する。
- (4) 消化管粘膜傷害及び消化器癌の病態解明に向けた病理組織学、分子生物学的な知識と技術を習得する。

3. 成績評価の方法と基準

成績の評価は、本学で定められた「成績の評価基準」に基づき、到達目標に対する達成度及び修得すべき基礎知識・技能の修得度により行う。

研究報告会における研究成果の発表（30%）と質疑応答（30%）、研究ノート提出（10%）
臨床カンファレンスにおける発表（15%）および質疑応答（15%）

4. 教科書・参考書

特に定めない。必要に応じて参考資料を配布する。

5. 準備学習

予習としては、関連文献を検索し、和訳は済ませた上で知識を整理して授業・実習に臨むこと。（1時間以上）

復習としては、講義内容を整理し、ノートなどにまとめておくこと。（0.5～1時間程度）

6. 備考

当該年度終了時に提出する「研究計画書」、又は「研究進捗・指導状況報告書」によりフィードバックを実施する。

(第1学年・昼間開講)

【消化管疾患学】

曜日	時間	期間	単位	授業区分	項目	内容	担当者	場所
月	14:20 ～15:35	通年	4	演習	消化管学全般	文献の抄読 症例カンファレンス	福井准教授	教授室
火	13:00 ～15:30	半年	2	実習	消化器癌の 化学療法	消化器癌の診断法、治療法	原 助教	医局 実験室
水	14:20 ～15:35	通年	4	講義	消化器癌の 化学療法	消化器癌の診断法、治療法	福井准教授	カンファ レンスル ーム
木	13:00 ～15:30	通年	4	臨床 実習	消化管 内視鏡	消化管内視鏡の治療法	大島臨床准教授	内視鏡 センター
金	13:00 ～15:30	半年	2	実習	GERD・FD	逆流性食道炎・ Functional dyspepsia	中井助教	内視鏡 センター

(第1学年・夜間開講)

月	18:00 ～19:15	通年	4	演習	消化管学全般	文献の抄読 症例カンファレンス	福井准教授	カンファ レンスル ーム
火	18:00 ～19:15	通年	4	講義	消化器癌の 化学療法	消化器癌の診断法、治療法	中井助教	カンファ レンスル ーム
水	18:00 ～20:30	通年	4	臨床 実習	消化管 内視鏡	消化管内視鏡の診断法	原 助教	内視鏡 センター
木	18:00 ～20:30	半年	2	実験 (臨床) 実習	GERD・FD	逆流性食道炎・ Functional dyspepsia	奥川臨床講師	内視鏡 センター
金	18:00 ～20:30	半年	2	実習	消化管 内視鏡	消化管内視鏡の治療法	原 助教	検査室

(第2学年・昼間開講)

月	14:20 ～15:35	半年	2	講義	消化管学全般	文献の抄読 症例カンファレンス	奥川臨床講師	医局 実験室
火	14:20 ～15:35	半年	2	演習	FD	Functional dyspepsia の病態	北山助教	教授室
水	13:00 ～15:30	通年	4	実験 実習	消化管細胞	消化管細胞と細胞間隙	大島臨床准教授	医局 実験室
木	13:00 ～15:30	半年	2	実験 実習	消化管粘膜 分子機構	消化管粘膜の傷害と修復	福井准教授	医局 実験室
金	13:00 ～15:30	半年	2	実験 (臨床) 実習	GERD	胃食道逆流症患者の診察と 検査 (24 時間 pH メーター他)	北山助教	医局

(第2学年・夜間開講)

月	18:00 ～20:30	通年	4	実験 (臨床) 実習	消化管学全般	文献の抄読 症例カンファレンス	大島臨床准教授	医局 実験室
火	18:00 ～19:15	半年	2	演習	FD	Functional dyspepsia の病態	北山助教	医局
水	18:00 ～20:30	半年	2	実習	GERD	胃食道逆流症患者の診察と 検査 (24 時間 pH メーター他)	奥川臨床講師	医局 実験室
木	18:00 ～19:15	半年	2	講義	消化器病学 全般	消化器症状発現 メカニズムの解明	大島臨床准教授	医局
金	18:00 ～20:30	半年	2	実験 実習	消化管粘膜 分子機構	消化管粘膜の傷害と修復	福井准教授	医局 実験室